

法人 NPO

日本EGGF協会 辻 大作 理事長

インタビュー

細胞再生という新しい効能や、ノーベル賞受賞という話題性などで、注目を集めている化粧品素材が、細胞再生因子「EGF」。そのEGFを配合した化粧品などに関する正しい知識の普及と有益な情報の提供を目的に設立されたのがNPO法人日本EGGF協会(事務局大阪府中央区、辻大作理事長、☎06-6245-3269)だ。「レベルの低い粗悪なEGF製品が増えている」という辻理事長に話を聞いた。

EGGFの粗悪品に注意を

——「10数年でEGGFの認知度は大きく高まったのでは。」

辻 確かにEGGFの認知度は高まっているが、その一方でレベルの低い粗悪品が出回っている実情があるので注意が必要だ。

外国製の原料を日本で

少し加工しただけで「トオリゴペプチド1」本製原料として販売していたり、成分の量順で成分名を表記しないと、化粧品に配合する成分表示のルールを商品まで出てくる始末だ。

「ヒトオリゴペプチド1」(HGH)を配合する商品まで出てくる始末だ。

「ヒトオリゴペプチド1」(HGH)を配合する商品まで出てくる始末だ。

——ガイドラインはどのようなものか。

辻 hEGGF、FGF1(aFGF)、FGF7(KGF)の3種類のサイトカイン原料について、主に活性や安全

——「レベルの低い粗悪なEGF製品が増えている」という辻理事長に話を聞いた。

辻 そうですね。EGGFは大きく異なる。EGGFは大腸菌の代謝によって生産するものだが、大腸菌に与えるエサや温度管理、製造方法などによって、EGGFの活性は大きく変わってくる。

——現在の協会製品のシエナは。

辻 OEM製品なども含め、協会認定商品は約30品目、年間20万個ほどが出荷されている。協会商品のシエナは70%程度になるのではないかと考えている。

性的観点から基準を定めている。

活性については、MTT法という試験方法で測定される生物学的活性に着目している。

例えばEGF配合の美容液ならば「1ミリあたり100IU(インターナショナルユニット)以上」などと具体的に数値で基準を定めているため、客観的な検証が可能だ。

——現在の協会製品のシエナは。

辻 OEM製品なども含め、協会認定商品は約30品目、年間20万個ほどが出荷されている。協会商品のシエナは70%程度になるのではないかと考えている。

——「10数年でEGGFの認知度は大きく高まったのでは。」

辻 確かにEGGFの認知度は高まっているが、その一方でレベルの低い粗悪品が出回っている実情があるので注意が必要だ。

——「レベルの低い粗悪なEGF製品が増えている」という辻理事長に話を聞いた。

辻 そうですね。EGGFは大きく異なる。EGGFは大腸菌の代謝によって生産するものだが、大腸菌に与えるエサや温度管理、製造方法などによって、EGGFの活性は大きく変わってくる。

——現在の協会製品のシエナは。

辻 OEM製品なども含め、協会認定商品は約30品目、年間20万個ほどが出荷されている。協会商品のシエナは70%程度になるのではないかと考えている。

——ガイドラインはどのようなものか。

辻 hEGGF、FGF1(aFGF)、FGF7(KGF)の3種類のサイトカイン原料について、主に活性や安全